

# 1

## 睦月にはかならず

『伊勢物語』

本書

p.  
4

解説書

p.  
4

### 復習問題

- ① ①むつき ②きさらぎ ③うづき ④さつき ⑤みなづき ⑥しわす  
② ①九月 ②十一月 ③十月 ④七月 ⑤八月 ⑥三月

### 設問

問1 A 〓 出家する B 〓 一日中 C 〓 たいへん

問2 1 〓 つこうまつり 2 〓 たまい 3 〓 もうで 4 〓 おおやけ

5 〓 うしなわで 8 〓 たまえ

問3 (1) 6 〓 まいり 7 〓 えい

(2) ワ行

問4 ア

問5 エ

問6 ア

問7 イ

## 2

### かぐや姫の生い立ち

#### 『竹取物語』

本書

p. 6

解説書

p. 8

#### 復習問題

- 1 ①ほのお ②ちようちよう ③しょうしょう ④ゆうれい ⑤おうみ  
⑥にゅうどう ⑦じぞう ⑧がんじつ

#### 設問

問1 A 〓おじいさん B 〓いとしい・かわいらしい C 〓おばあさん

問2 (1) 自立語 〓 ①・②・⑤・⑦・⑧ 付属語 〓 ③・④・⑥

(2) ある 〓 ②・③・⑥・⑦ ない 〓 ①・④・⑤・⑧

問3 ①名詞 ②動詞 ③助動詞 ④助詞 ⑤名詞(代名詞) ⑥助動詞

⑦形容詞 ⑧副詞

問4 七つ

問5 手にうち入れて(7字)

問6 2 〓竹取の翁 3 〓三寸ばかりなる人

### 3

## かぐや姫の成長

### 『竹取物語』

本書

p.  
8

解説書

p.  
12

#### 復習問題

- ① (1) もと<sup>自</sup> — 光る<sup>自</sup> — 竹<sup>自</sup> — なむ<sup>付</sup> — 一筋<sup>自</sup> — あり<sup>自</sup> — ける<sup>付</sup>。  
 (2) もと — 光る — 竹なむ — 一筋 — ありける。  
 ② ①感動詞 ②接続詞 ③ア＝名詞(代名詞) イ＝副詞 ウ＝助動詞

#### 設問

- 問1 A＝だんだん・次第に B＝時・うち・間 C＝顔かたち・容貌・容姿  
 問2 ①形容動詞・連用形 ②動詞・未然形 ③動詞・終止形  
 ④形容詞・連用形 ⑤形容詞・連体形 ⑥動詞・連用形  
 問3 ①豊かなり ②いだす ③養ふ ④なし ⑤苦し ⑥呼ぶ  
 問4 連用中止(法)  
 問5 この児のかゝ満ちたり。  
 問6 ウ

## 4

## 人のむすめのかしづく

『伊勢物語』

本書

p.  
10

解説書

p.  
16

## 復習問題

1

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
聞く	聞	か	き	く	く	け	け
散る	散	ら	り	る	る	れ	れ
待つ	待	た	ち	つ	つ	て	て

2

- ①名詞 ②連用形 ③連体形

## 設問

問1 AⅡこう・このように BⅡ月の最終日・みそか CⅡ一日中・終日

問2 ①ラ行変格活用・連用形・をり等 ②ハ行四段活用・未然形・該当のものうち一つ書いていれば正解 ③ナ行変格活用・終止形・往ぬ

問3 往ぬ

問4 ㊤ウ ㊤ア ㊤イ ㊤えア

問5 いかでこの男にもいはいはむ (12字)

問6 ア

## 5

## 仁和寺にある法師

『徒然草』

本書

p.  
12

解説書

p.  
20

## 復習問題

1

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
知る	知	ら	り	る	る	れ	れ
死ぬ	死	な	に	ぬ	ぬる	ぬれ	ぬ
死ぬ	死	な	に	ぬ	ぬる	ぬれ	ぬ

2

- ① 誇ら ② をる ③ 侍る ④ 往に ⑤ 死ぬる

## 設問

問1 A 長年の間・何年かの間 B 本来の目的・前からの望み・宿願

問2 ① マ行四段活用・拝む・未然形 ② ガ行上二段活用・過ぐ・連用形

③ マ行上一段活用・見る・未然形

問3 ① イ ② オ ③ ア

問4 石清水八幡宮に参拝するため。

問5 エ

問6 イ

## 6

## 人のむすめを盗みて

『伊勢物語』

本書

p.  
14

解説書

p.  
24

## 復習問題

1

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
着る	(着)	き	き	きる	きる	きれ	きよ
落つ	落	ち	ち	つ	つる	つれ	ちよ

2

- ① 報ゆ・ヤ行上二段活用      ② ころみる・マ行上二段活用  
 ③ 降る・ラ行上二段活用      ④ 恥ぢ      ⑤ 尽くる

## 設問

問1 A Ⅱ 連れる・伴う    B Ⅱ 嘆く・思い悩む・困る    C Ⅱ 去る・いなくなる

問2 ① ガ行下二段活用・逃ぐ・連用形    ② カ行下二段活用・つく・未然形

問3 イ・エ

問4 1 Ⅱ むさし    2 Ⅱ かみ

問5 イ

問6 ア

## 7

## 弓射ることを習ふに

『徒然草』

本書

p.  
16

解説書

p.  
28

## 復習問題

1

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
蹴る	(蹴)	け	け	ける	ける	けれ	けよ
与ふ	与	へ	へ	ふ	ふる	ふれ	へよ

2

- ① 見ゆ・ヤ行下二段活用 ② 飢う・ワ行下二段活用 ③ ぬる・あくる

## 設問

問 1 A 〓 丁寧だ・熱心だ B 〓 容易でない・難しい

問 2 1 〓 せ 2 〓 する

問 3 ア・ウ・エ

問 4 重ねて、ねんごろに修せんことを期す。(18字)

問 5 イ

問 6 ア

## 8

## 二月五日 住吉の明神

『土佐日記』

本書

p.  
18

解説書

p.  
32

## 復習問題

1		基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
来	す	(来)	(す)	こ	せ	き	し	く	す
								くる	する
								くれ	すれ
								こ・(こよ)	せよ

- ② ①こ (こよ) ②おはする ③くれ ④せ

## 設問

問1 A 〓さらに・もっと B 〓どのように C 〓突然だ

問2 1 〓下二段活用・連用形 2 〓カ行変格活用・連体形

3 〓サ行変格活用・終止形 4 〓四段活用・未然形

5 〓上一段活用・連用形 6 〓ラ行変格活用・未然形

問3 1 〓ウ 4 〓ア 5 〓カ

問4 イ 問5 ア 問6 イ

問7 エ 問8 欲深い心(4字)



## 9

## ふるさとのだびねの夢

『大和物語』

本書

p.  
20

解説書

p.  
36

## 復習問題

① ナ行変格活用・連体形 ② ガ行上二段活用・終止形

③ カ行下一段活用・命令形

② ① 捨つれ ② 着 ③ 落つる

## 設問

問 1 A 〓 仏道修行する・勤行する B 〓 そのまま C 〓 非常に悪い

問 2 種類 〓 ウ音便 もとの形 〓 たまひ

問 3 2・5

問 4 ① ア ② ウ ③ ア

問 5 (1) 「たびね」が「ひね（日根）」と「旅寝」の掛詞。

(2) ふるさとのたびねの夢に見えつる（15字）

(3) またと問はねば（7字）

問 6 エ

## 復習問題

- ① 果たしました ② 見申し上げて  
② ① 泣い・イ音便 ② 給う・ウ音便 ③ 進ん・撥音便 ④ なつ・促音便

## 設問

- 問1 A 〓 あれやこれやと・いろいろと B 〓 ひどくくする C 〓 数か月  
問2 (1) ① かなしく ② かなしかり ③ かなしき  
(2) 記号 〓 ① 意味 〓 かわいい  
問3 イ・エ  
問4 ア  
問5 (1) 七つか八つぐらいの子が  
(2) 死んでしまったということ  
問6 ▽ 〓 かくてくりなん ▽ 〓 児のこくしはや

# 11

## あたりを離れぬ君達

### 『竹取物語』

本書

p.  
24

解説書

p.  
44

#### 復習問題

1	基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
	よし	よ	から <small>(く)</small>	かり	○し	かる	○けれ	○かれ
	うれし	うれ	しから <small>(しく)</small>	しくかり	○し	しきる	○しけれ	○しかれ

② ①ゆかし・連用形 ②なまめかし・已然形

③ ①ウ音便・若く ②撥音便・多かる

#### 設問

問1 AⅡずっととして・し続けて BⅡ手紙 CⅡ送る・与える

問2 (1) おろかなり・ナリ活用・連体形 (2) イ

問3 ウ 問4 ウ

問5 色好み(3字)

問6 返りごともしせず(7字)

# 12

## 春やむかしの春ならぬ

『伊勢物語』

本書

p. 26

解説書

p. 48

### 復習問題

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
静かなり	静か	なら	なり・に	なり	なる	なれ	なれ
堂々たり	堂々	たら	たり・と	たり	たる	たれ	たれ

- ① はなやかなる・はなやかなり・連体形 ② 索々たり・索々たり・終止形  
撥音便・あはれなる

### 設問

- 問1 A 訪問する・訪れる B つらい・心苦しい C 次の年・翌年
- 問2 ① 動詞・ラ行変格活用・未然形 ② 形容詞・ク活用・連用形  
③ 動詞・ハ行上二段活用・連用形 ④ 動詞・マ行上一段活用・已然形  
⑤ 形容動詞・ナリ活用・連体形 ⑥ 動詞・マ行四段活用・已然形（命令形）  
⑦ 動詞・カ行下二段活用・連体形
- 問3 読み 〓 むつき 季節 〓 春 問4 ウ
- 問5 3 〓 オ 4 〓 イ 問6 ア

## 13

## 故御息所の御姉

『大和物語』

本書

p.  
28

解説書

p.  
52

## 復習問題

- ① ア行下二段活用 ② ヤ行上二段活用 ③ ダ行下二段活用  
 ④ サ行変格活用 ⑤ ヤ行上一段活用 ⑥ ラ行変格活用
- ② ① 形容詞・シク活用・未然形 ② 形容動詞・ナリ活用・連用形  
 ③ 形容詞・ク活用・命令形

## 設問

- 問1 A 〓洗練されている・利発だ B 〓もの思いにふける C 〓言い寄る・求婚する
- 問2 あ〓連体形 い〓連用形 う〓連用形
- 問3 I 〓ぬ II 〓ざり III 〓ず
- 問4 イ 問5 ア
- 問6 ウ
- 問7 結婚もしないで過ごすこと (12字)
- 問8 一生に男せでやみなむ (10字)

## 復習問題

1 ①ぬ ②ざり ③ぬ

2 ①ざれ・命令形 ②ね・已然形

## 設問

問1 A 〓病気になる B 〓つらい

問2 1 〓過去 2 〓過去 3 〓詠嘆

問3 I 〓けれ II 〓ける

問4 はかなくわづらひて(9字)

問5 小野宮殿が少将の乳母に対して

問6 エ

15

嵯峨帝の御時に

『宇治拾遺物語』

本書

p.  
32

解説書

p.  
60

復習問題

- 1 ①詠嘆 ②過去 ③詠嘆  
2 ②

設問

問1 A Ⅱいらつしやる・おいでになる B Ⅱ(帝・上皇に)申し上げる

C Ⅱおつしやる

問2 ①つ・已然形・完了 ②つ・未然形・強意 ③ぬ・未然形・強意

④ぬ・連用形・完了

問3

イ

問4

イ

問5

こ・し

問6

エ

## 復習問題

- ① な・強意 ② て・完了  
 ② ① 長くなるであろう ② 終わったら ③ やりとげてしまおう ④ 下ろしてくれ

## 設問

- 問1 A 〓座る B 〓異様だ・変だ・怪しい  
 問2 1 〓存続 2 〓存続 3 〓存続 4 〓存続 5 〓完了 6 〓完了  
 問3 「何事いふくけてゐたる  
 問4 (1) 「こと」が「ことに（格別に）」の「こと」と「琴」の掛詞。  
 (2) 西行 〓エ 侍 〓イ  
 問5 ウ



# 17

## 翁の祭見物

### 『十訓抄』

本書

p. 36

解説書

p. 68

#### 復習問題

- 1 ①る ②たら
- 2 ①完了 ②存続 ③完了 ④存続

#### 設問

問1 AⅡ表情・態度・そぶり・顔つき BⅡお呼びになる CⅡ評議・裁き・処分

問2 ①イ ②エ

問3 ①ア ②エ

問4 (1) 踏み殺さ 動詞「踏み殺す」サ行四段・未然形 ー 助動詞「る」受身・連用形 れ ー 助動詞「ぬ」強意・終止形 ぬ ー 助動詞「べし」推量・連用形 べく ー 動詞「おぼえ」ヤ行下二段・連用形 おぼえ ー 助詞 て

問5 (2) きつと踏み殺されるだろうと思われる  
ウ・オ

## 復習問題

- ① ①む・意志      ②むずる・推量      ③べから・可能      ④べかり・適當  
 ⑤べし・命令      ⑥む・婉曲

## 設問

問1 A 〓 だけ      B 〓 気が晴れる・満足する・納得する

C 〓 そっくりそのまま・すべて

問2

(1) よも ー

動詞「行く」・  
力行四段・未然形  
行か ー

助動詞「じ」・  
打消推量・終止形  
じ

(2) まさか行かないだろう。

問3

あ 〓 い 〓 ウ

問4

①エ      ②ウ      ③ウ      ④ア      ⑤エ

問5

ウ

問6

ア

# 19

## 塩釜にいつか来にけむ

『伊勢物語』

本書

p.  
40

解説書

p.  
76

### 復習問題

- ①じ・打消推量 ②まじき・禁止 ③まじけれ・打消推量 ④じ・打消意志

### 設問

問1 A 〓すばらしい・趣深い B 〓詩歌・管弦を楽しむ

C 〓神秘的だ・不思議だ・珍しい

問2

- (1) (代名詞 助詞) いつ — (動詞「来」・カ変連用形) 来 — (助動詞「ぬ」・完了連用形) に — (助動詞「けむ」・過去の原因推量・連体形) けむ
- (2) いつ来てしまったのだろうか。

問3

イ

問4

ウ

問5

ウ

問6 在原業平

## 復習問題

- 1 ①けむ ②らむ ③め
- 2 ①どうしてほととぎすの鳴き声がなくなってしまっているのだろうか。  
②京が住みづらかったのだろうか、

## 設問

- 問1 A Ⅱ 参上する・参内する B Ⅱ 見たい・知りたい  
C Ⅱ (めったにないほど) すばらしい
- 問2 (1) ①れ ②られ  
(2) ①ア ②エ
- 問3 ①エ ②ア
- 問4 玉簾の中を御覧になりたいことでしょうか。
- 問5 雲の上はありし昔に変はらねど見し玉垂の内ぞゆかしき
- 問6 ア

21

磐手の郡より奉れる御鷹

『大和物語』

本書

p.  
44

解説書

p.  
84

復習問題

- ① ①らるる ②れ ③られ ④るれ  
② ①可能・未然形 ②自発・連体形 ③受身・終止形

設問

- 問1 A Ⅱまったく・少しも B Ⅱ宮中・内裏  
問2 1 Ⅱ使役・已然形 2 Ⅱ尊敬・連用形  
問3 1 Ⅱイ 2 Ⅱウ  
問4 イ  
問5 ②ア ③ウ  
問6 「いはで」が「言はで（言わない）」と鷹の名の「磐手」の掛詞。  
問7 エ

## 復習問題

- ① ①する ②させ

- ② ①尊敬・連用形 ②使役・已然形 ③使役・連用形

## 設問

問1 A 〓身分が高い・上品だ B 〓言うまでもない・もちろんだ

問2 1 〓断定の助動詞「なり」連用形 2 〓断定の助動詞「なり」已然形

問3 ウ

問4 七つ

問5 ウ

問6 よき人(3字)

問7 ア

問8 エ

## 復習問題

- 1 ①に ②なれ ③なら  
2 ①× ②○ ③× ④○

## 設問

問1 A 〓早く・早くも B 〓事情・趣旨 C 〓そうである・そのとおりだ

問2 もしこれほどの漢詩を作ったならば、きっと（私の）名声をあげただろうに。

問3 エ

問4 ア

問5 ▽結びの語 〓なき 基本形 〓なし

▽結びの語 〓しか 基本形 〓き

問6 エ

## 復習問題

- ① (1) もし仮にこの世に桜が全くなかったとしたら、春の人の心は穏やかだろうに。  
 (2) 世の中に桜があるので、それが気がかりで、とても穏やかではられない。

## 設問

問1 AⅡすばらしい・すぐれている BⅡ学問・学才 CⅡ見た目・外見・容貌

問2 ウ

問3 ①エ ④ウ

問4 (1) 女房たちは笑うことができないで、そっと引っ込んでしまった。

(2) ア

問5 匡衡の任官を願っていたのに思うようにならず、ふさぎ込んでいる状態。



25

熱田まで

『東関紀行』

本書

p.  
52

解説書

p.  
100

復習問題

1 ①終止形 ②連体形

2 ①イ ②ア

設問

問1 A 〓 たくさん・多く B 〓 大声で騒ぐ

問2 1 〓 ○ 2 〓 ○ 4 〓 ×

問3 ウ

問4 イ

問5 鷺むら(3字)

問6 エ

問7 「なる」が「遠くなる」の「なる」と「鳴海潟」の「鳴」の掛詞。

## 復習問題

- ① 打消・連体形    ② 完了・終止形    ③ 強意・終止形
- ②    ① こ    ② き

## 設問

- 問1 A なるほど・いかにも    B 光
- 問2 1 ㍡ エ    2 ㍡ ア    3 ㍡ イ    4 ㍡ ウ
- 問3 イ
- 問4 イ
- 問5 早くみさきという所を渡りたい
- 問6 ア
- 問7 雲のうへも海のそこも同じごとくになむありける。(23字)

## 復習問題

- ① 伝聞推定・連体形    ② 断定・終止形    ③ 完了・已然形    ④ 断定・未然形

## 設問

- 問1 A 頼みにできるもの    B どうか・どのようだ    C 祈る  
 問2 1 死んでしまったならば    2 聞くと  
 問3 イ  
 問4 ① ウ    ② エ  
 問5 この御前にして干死にに死なむ。(15字)  
 問6 穢れ  
 問7 エ

## 復習問題

- ① ①もし死を憎むとするならば ②見渡すと ③波が荒いので  
 ② ①○ ②× ③○

## 設問

- 問1 A 〓 朝廷 B 〓 少しも・全く C 〓 できない  
 問2 1 〓 ける 2 〓 めれ  
 問3 ウ  
 問4 ア  
 問5 ア  
 問6 エ

## 復習問題

- ① こそ・まされ・ア      ② ぞ・渡る・ア      ③ なむ・ける・ア

- ④ や・言ふ・ウ      ⑤ か・近き・イ

## 設問

問1 A 〓 手紙 B 〓 ああ

問2 1 〓 与ふ・謙讓語 2 〓 言ふ・謙讓語 3 〓 呼ぶ・尊敬語

4 〓 あり・丁寧語 5 〓 思ふ・尊敬語 6 〓 仕ふ(あり)・謙讓語

7 〓 言ふ・尊敬語 8 〓 受く・謙讓語

問3 ウ

問4 エ

問5 ア

問6 ③ 〓 魚のあはせ(5字)      ④ 〓 御腹の内(4字)

問7 ア

## 復習問題

- ① おっしゃる ② お思いになる ③ 退出する ④ あります・おります
- ② ① たてまつり・謙譲語 ② 侍り・丁寧語 ③ おはする・尊敬語

## 設問

- 問1 A 〓用意・準備・したく B 〓むやみに・ひどく C 〓りっぱだ・すばらしい
- 問2 1 〓 B 2 〓 A 4 〓 B 5 〓 A
- 問3 ウ
- 問4 イ
- 問5 亭子の帝はどうして私の嘆きをお聞きになったのであろうか。
- 問6 ウ